

日本のロータリーは外国人留学生を
支援しています

2025-26



事業のシンボルマーク

重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。

外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた
信頼関係を築き、世界の平和を願う“心”を育てるという、
事業創設の願いが込められています。

手は、そうした“心”を生み出すと同時に、
当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。



公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会
ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト



この冊子には、掲載の奨学生は、2024年4月1日現在、在日学生です。
中国工場の生産能力は、中国の経済成長に伴って、急速に伸びています。

RYS. 98T. 2025-09



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

事業のあゆみ

- 1952 ● 東京RCが奨学事業の構想を立案
- 1953 ● 「米山基金」の募金開始
- 1954 ● 奨学生第1号のソムチャード氏がタイより来日
- 1957 ● 新組織「ロータリー米山奨学委員会（委員長：小林雅一氏）」を結成
- 1958 ● 新組織初の奨学生8人を採用
- 1959 ● 世話クラブ制度設置
- 1960 ● 「ロータリー米山記念奨学会」と改称
- 1967 ● 「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立
- 1971 ● カウンセラー制度設置
- 1972 ● 米山功労者制度の設定
- 1978 ● 特別寄付金への免税措置の認可を得る
- 1983 ● 台湾米山学友会（扶輪米山会）正式発足
- 1985 ● 国内初の米山学友会（関東）が誕生
- 1989 ● 4月採用から元ロータリー所在国からの留学生へ門戸を開く
● 韓国米山学友会正式発足
- 1999 ● 4月採用から全ての国・地域が対象となる
- 2001 ● 日本政府から留学生交流功労団体として表彰される
- 2002 ● 4月採用から指定校・大学推薦制度を全国で施行
- 2004 ● RI理事会で米山記念奨学事業が賞賛を受ける
- 2005 ● 4月採用から採用数・奨学金額を縮減
- 2006 ● 制度改編・新制度発足「現地採用奨学金」「地区奨励奨学金」
- 2007 ● 日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動としての手続が完了
- 2008 ● ホームカミング制度がスタート
- 2009 ● 中国米山学友会設立
- 2010 ● 中国・韓国の学部生に応募資格が与えられる
- 2012 ● 「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となる
● タイ米山学友会設立
- 2013 ● よねやま親善大使制度スタート
● ネパール米山学友会設立
- 2014 ● モンゴル米山学友会設立
- 2016 ● ソウル国際大会にブース出展、初の分科会開催
● スリランカ米山学友会設立
● マレーシア米山学友会設立
- 2017 ● ミャンマー米山学友会設立
● 財団設立50周年
- 2018 ● 財団設立50周年記念式典
- 2023 ● ベトナム南米山学友会設立



米山梅吉氏 (1868-1946)



第1号奨学生、タイのソムチャード氏 (1929-90)



財団設立50周年記念式典



米山基金の構想を
発表した古澤文作氏
(1881-1955)



1967-73
初代理事長
田 誠
(東京RC)



1973-92
第二代理事長
湯浅 恭三
(東京RC)



1992-01
第三代理事長
末永 直行
(福岡西RC)



2001-07
第四代理事長
島津 久厚
(都城RC)



2007-14
第五代理事長
板橋 敏雄
(足利東RC)



2014-18
第六代理事長
小沢 一彦
(横浜RC)



2018-21
第七代理事長
齋藤 直美
(豊田RC)



2021-
第八代理事長
若林 紀男
(大阪東RC)

背景

- 1945 ● 第二次世界大戦終戦
- 1946 ● 米山梅吉氏逝去
- 1947 ● ポールハリス氏逝去
- 1949 ● 日本のロータリーが国際ロータリーに復帰
- 1951 ● サンフランシスコ講和条約調印
- 1954 ● 国費外国人留学生制度開始
- 1956 ● 経済白書「もはや戦後ではない」
- 1960 ● 新・日米安全保障条約調印
- 1961 ● 東京で国際大会開催
- 1964 ● 東京オリンピック
- 1970 ● 大阪万国博覧会
- 1972 ● 日中国交正常化
- 1975 ● 米山週間を4月に決定
- 1978 ● 東京で国際大会開催
- 1980 ● 米山週間を4月から10月に変更
- 1983 ● 米山週間が米山月間(10月)になる
● 「留学生受け入れ10万人計画」発表
- 1985 ● つくば万博
- 1989 ● ソウルで国際大会開催
- 1991 ● バブル経済崩壊
- 1995 ● 阪神・淡路大震災
- 2001 ● アメリカ同時多発テロ事件発生
- 2003 ● 在日留学生10万人突破
- 2004 ● 大阪で国際大会開催
- 2005 ● ロータリー100周年
● 愛・地球博(愛知万博)
- 2008 ● 「留学生30万人計画」発表
● 米金融危機
- 2010 ● 第2750地区に東京米山友愛RC創立
- 2011 ● 東日本大震災
- 2012 ● 第2750地区に東京米山ロータリーEクラブ2750創立
● バンコクで国際大会開催
- 2013 ● ロータリー世界平和フォーラム広島開催
● 第2770地区にさいたま大空RC創立
- 2016 ● 熊本地震
● ソウルで国際大会開催
- 2020 ● 新型コロナウイルス感染症の流行
● 日本のロータリー100周年
- 2024 ● 能登半島地震

設立趣意書

財団法人 ロータリー米山記念奨学会

この法人は、主としてアジア諸国、又はその他のロータリー所在国の学生又は学者に対し、わが国において勉強又は研究するための奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的として設立する。

この法人は、昭和27年^{*1}に東京ロータリー倶楽部が設定し、昭和32年に全国のロータリークラブに参加を求めて以来、逐年発展し、今や在日全ロータリークラブの共同事業となり、国際留学生に対する奨学金の支給を通じて、所期の目的たる国際理解と親善にも多大の成果を収めつつある、ロータリー米山記念奨学会の事業と財産を継承し、法人化によってその基礎を確立し、今後一層奨学事業の発展を期するため設立されるものである。

この法人は、全国ロータリークラブの寄付を主たる財源とし、ロータリー会員によって運営され、ロータリー目的達成に寄与することを目的としている。

昭和42年

^{*1} 原文では「昭和24年」と記されているが、正しくは「昭和27年」であるため、修正して表記した。

ロータリー米山記念奨学事業とは？

日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の架け橋になる人材を育てています。



事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

なぜ、外国人留学生を支援するのか？



米山基金の構想を発表した古澤文作会長

この事業は1952年、東京ロータリークラブ（RC）が発表した「米山基金」に始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたい——。東京RCが設立したのは、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリー会員の強い願いがありました。

米山梅吉氏(1868 - 1946)

東京・芝田村町生まれ。19歳で渡米、帰国後は三井銀行入行。遣米使節団の一員としてアメリカ滞在中、ダラスRC会員だった福島喜三次氏と出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立します。24年には日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立し初代社長に就任。晩年は三井報恩会を通じて社会・医療・文化事業を支援したり、私財を投じて緑岡小学校と緑岡幼稚園を設立するなど教育にも献身しました。“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”。これは梅吉氏の願いでもあり、生涯そのものでした。



- 1868 (0歳) 2月4日、大和国高取藩 和田竹造の三男として東京に生まれる
- 1872 (4歳) 父竹造死去。母の郷里 静岡県三島に移る
- 1883 (15歳) 沼津中学を2年で中退。上京し、銀座江南学校に入学
- 1886 (18歳) 東京英和学校(青山学院の前身)へ入学
- 1887 (19歳) 米山家に養子として入籍、渡米。在米8年間、カリフォルニア州ベルmont・アカデミー、オハイオ州ウェスレアン大学、ニューヨーク州シラキュース大学で修学(法律専攻)
- 1895 (27歳) 日本へ帰国
- 1896 (28歳) 米山はる(春子)と結婚
- 1897 (29歳) 三井銀行に入社
- 1918 (50歳) 米国視察中、ダラスロータリークラブ会員である福島喜三次氏を訪問
- 1920 (52歳) 日本初のロータリークラブ、東京ロータリークラブを設立し、初代会長に就任
- 1924 (56歳) 三井信託株式会社創立、取締役社長に就任 R I からスペシャルコミッショナーに任命(1924-26)
- 1926 (58歳) アジア初の R I 理事に就任(1926-27)
- 1928 (60歳) 第 70 地区ガバナー(1928-31)。紺綬褒章受章
- 1934 (66歳) 財団法人三井報恩会 理事長
- 1937 (69歳) 青山学院緑岡小学校と幼稚園を創立。梅吉は小学校の校長に、はる夫人は幼稚園園長に就任
- 1940 (72歳) 日本のロータリー解散
- 1946 (78歳) 4月28日 逝去

ロータリー米山記念奨学金の特長

交流を重視しています。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神について学びます。奨学期間終了後は米山学友会に入会したり、「ロータリー学友」として国際ロータリーのコミュニティに参加することができます。



POINT 1 世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって日常の相談役をつとめます。奨学期間中、奨学生は世話クラブから奨学金を受け取り、交流します。

POINT 2 民間最大の国際奨学事業

2025学年度の奨学生数は964人、事業費は15億9千万円(2024-25年度決算)と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は24,830人(2025年7月現在)、その出身国は世界134の国と地域に及びます。



毎年の寄付で事業を運営

2024-25年度の寄付金収入は13億3,052万円と、前年度から約1億円減少しました。一方、配当金・利息収入が増加し、総収入は前年並みを維持しています。奨学生数の増加や地区への補助費拡充により事業費支出は増加しました。いただいた寄付金はまず奨学金の原資として充てられ、システム開発や地区・世話クラブへの補助費、事業部門の事務局人件費等にも活用されています。当会では公認会計士による毎月の全伝票チェックにより、財政の健全性と透明性を確保しています。

収入の部

(単位：千円)

科目	2024-25	2023-24
寄付金収入	1,330,524	1,445,683
普通寄付金	405,066	410,403
特別寄付金	925,458	1,035,280
配当金	250,020	156,600
利息収入	48,479	22,680
収入合計	1,629,023	1,624,963

支出の部

(単位：千円)

科目	2024-25	2023-24
事業費	1,589,489	1,506,429
奨学金	1,282,880	1,257,770
奨学生・学友関係費	77,329	51,162
地区関係補助費	86,145	57,360
世話クラブ関係補助費	53,012	52,395
広報活動・募金推進費	15,138	16,997
人件費	63,563	59,308
借室料	11,422	11,436
管理費	46,733	44,740
支出合計	1,636,222	1,551,169

当期正味財産増減額	-7,199	73,794
-----------	--------	--------

基本財産・特別積立資産の推移

(2004~24年度)

- 基本財産
- 奨学資金特別積立資産
- 奨学事業安定積立資産
- 流動資産ほか

(単位：百万円)

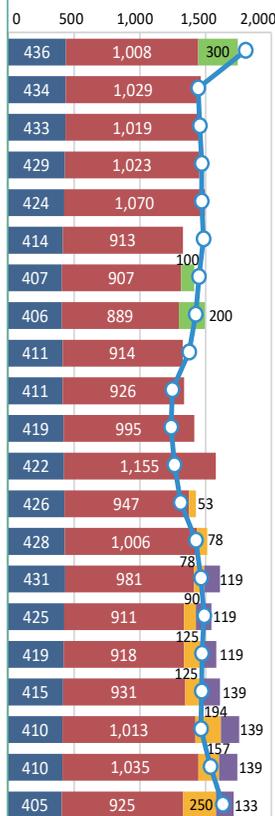


寄付金と奨学金・事業費の推移

(2004~24年度)

- 普通寄付金
- 特別寄付金
- 特別積立資産取崩
- 配当金
- 奨学事業安定積立資産取崩
- 奨学金・事業費

(単位：百万円)



奨学事業安定積立資産とは？

公益法人には、公益目的事業に係る収入が事業費を超えてはならない（収支相償）という制約があります。よって、寄付金収入の増加による黒字決算分を「奨学事業安定積立資産」（2016年6月理事会で設置承認）に積み立て、奨学事業のために計画的に使用しています。

学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金

大学・大学院生の留学生在が対象の代表的なプログラム。
採用者の9割以上を占めます

月額 学部課程：10万円 修士・博士課程：14万円

期間 課程修了までの最長2年間

募集方法 指定校推薦制度

- 対象者**
- ・指定校に在籍する正規留学生
 - ・採用時に各課程の最終学年、もしくはその一つ前の学年に在籍
 - ・45歳未満

地区奨励ロータリー米山記念奨学金

大学学部相当の高専・専修学校の課程(A)、短大・高専・専修学校・外国人留学生研修機関(B)の留学生在が対象

月額 A：10万円 B：7万円

期間 A：課程修了までの最長2年間 B：1年間

募集方法 指定校推薦制度

- 対象者**
- ・指定校に在籍する40歳未満の留学生在
(在留資格「留学」「文化活動」「研修」、または「難民」「避難民」の認定を受けた者)

その他 Bは採用枠1人につき2人採用可

クラブ支援ロータリー米山記念奨学金

現役奨学生の期間延長プログラム。世話クラブが申請し、延長期間の奨学金の半額をクラブが負担します

月額 学部課程：10万円 修士・博士課程：14万円

期間 6カ月と1年の選択制 ※10月採用は6カ月のみ

募集方法 世話クラブ推薦制度

対象者

10月採用：8/15応募締切
4月採用：10/15応募締切

- その他**
- ・本制度による延長を受け付ける地区に限る
 - ・地区奨励、海外学友会推薦奨学生は対象外

海外応募者対象ロータリー米山記念奨学金

日本での留学校が決まっている外国人が、来日前に海外から個人応募できる予約型のプログラム

月額 学部課程：10万円 修士・博士課程：14万円
※来日時渡航費の補助あり

期間 原則2年間

募集方法 公募制

対象者 日本滞在歴がなく、日本の大学・大学院に学位取得を目的として入学する45歳未満の者

- その他**
- ・ROTEX(ローテックス)は申込可
 - ・各地区1人は割当数以外で採用可



海外学友会推薦ロータリー米山記念奨学金

海外学友会が募集・選考して日本へ送り出すプログラム。上級研究者が対象です

月額 14万円 ※往復渡航費、宿舍手当の補助等あり

期間 最長1年間

募集方法 台湾・韓国の各学友会選考委員会による募集・選考

対象者 現在は台湾・韓国のみ実施。博士号を取得し、日本留学を希望する50歳未満の上級研究者

その他 台湾から2人、韓国から1人枠

Q 危機管理への対策は？

ロータリー米山記念奨学会では、2024年6月に危機管理規程を制定しました。奨学生に関わるハラスメントや事故が発生した場合、地区ガバナー及び地区危機管理委員会と、当会とが共同して対処します。また、①当会役員、ガバナー、クラブ会長、地区米山奨学委員長を被保険者とする賠償責任保険、②現役奨学生を被保険者とし、世話クラブ例会出席・オリエンテーション・終了式における傷病へ対応できる傷害保険にも加入しています。なお、当会事務局では奨学生のための専用相談窓口も設置しています。

地区の奨学生割当数（2026 学年度）

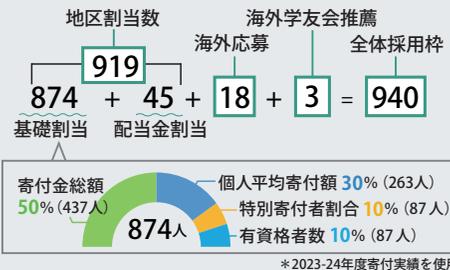
- ・割当数以外の採用もあるため、地区奨学生数とは異なります
- ・2026 学年度は、地区に割り当てる919 人のほか、海外学生会推薦奨学生3 人、海外応募者対象奨学生18 人を加えた940 人枠が全体採用数です

地区	都道府県・市	2026	2025	前年度比
2500	北海道東部	10	10	0
2510	北海道西部	20	21	-1
2520	岩手県・宮城県	13	15	-2
2530	福島県	21	21	0
2540	秋田県	10	10	0
2550	栃木県	25	23	2
2560	新潟県	24	27	-3
2570	埼玉県西北	18	16	2
2770	埼玉県南東	40	38	2
2790	千葉県	28	31	-3
2800	山形県	14	15	-1
2820	茨城県	30	32	-2
2830	青森県	11	13	-2
2840	群馬県	28	29	-1
2580	東京都・沖縄県	46	44	2
2590	神奈川県（横浜市・川崎市）	39	38	1
2600	長野県	16	17	-1
2610	石川県・富山県	26	21	5
2620	静岡県・山梨県	27	29	-2
2630	岐阜県・三重県	21	18	3
2750	東京都（北マリアナ諸島他）	45	45	0
2760	愛知県	53	53	0
2780	神奈川県（横浜市・川崎市以外）	31	32	-1
2640	大阪南部・和歌山県	20	21	-1
2650	福井県・京都府・奈良県・滋賀県	60	60	0
2660	大阪北部	58	55	3
2670	愛媛県・香川県・高知県・徳島県	25	24	1
2680	兵庫県	30	25	5
2690	岡山県・島根県・鳥取県	26	25	1
2700	福岡県・長崎県・佐賀県	28	27	1
2710	広島県・山口県	25	26	-1
2720	熊本県・大分県	18	20	-2
2730	鹿児島県・宮崎県	17	16	1
2740	長崎県・佐賀県	16	18	-2
計		919	915	4

年間カレンダー：奨学生が決まるまで

6月 奨学会で地区割当数を決める

寄付金収入予測に基づき全体採用数を決定します
(2026学年度：940人枠)



7月 地区で指定校と被推薦者数を決める

- ・地区米山選考委員会が指定校を毎年選定します
- ・同委員会では、説明会等で学校へ要望を伝え、奨学生にふさわしい留学生を推薦してもらうよう努めています

8月 募集スタート

奨学会から指定校へ通知するほか、ホームページで指定校・募集要項を発表します

8～10月 指定校での学内選考と申し込み

指定校での学内選考を経て10月15日までに提出された申込書類を、奨学会が確認します

11～1月 書類選考・面接試験

地区ごとに面接委員オリエンテーションを実施し、全国共通の基準にしたがって書類・面接選考します



12～3月 合否発表

地区の報告順に学校専用画面で「合格内定」「不合格」を発表。当理事会承認後、3月下旬に合格通知を学校経由で送付します

4月 オリエンテーション

世話クラブ・カウンセラーとの初顔合わせ。確約書にサインし正式に米山奨学生となります

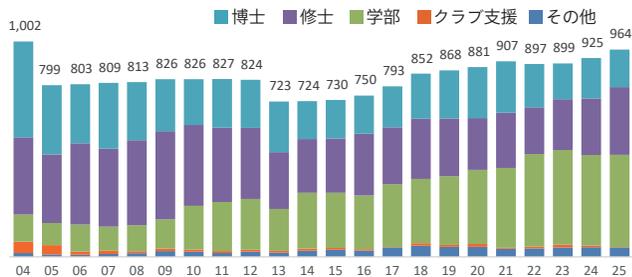
国・地域別奨学生数(2025年7月現在) *累計数順

アアジア州 北・南アメリカ州 ヨーロッパ州・NIS諸国 アフリカ州 大洋州

順位	国・地域	奨学生	累計	順位	国・地域	奨学生	累計	順位	国・地域	奨学生	累計
1	中国	386	8,802	46	ルーマニア	0	13	90	イラク	0	2
2	韓国	126	4,939	46	セネガル	0	13	90	エクアドル	0	2
3	台湾	34	3,643	48	コートジボワール	0	12	90	エルサルバドル	0	2
4	ベトナム	126	1,611	48	タンザニア	0	12	90	グアテマラ	0	2
5	マレーシア	34	1,124	50	コロンビア	2	11	90	ドミニカ共和国	0	2
6	インドネシア	36	574	50	エチオピア	1	11	90	パラグアイ	0	2
7	モンゴル	33	406	50	イスラエル	0	11	90	ホンジュラス	0	2
8	ネパール	37	404	50	ニュージーランド	0	11	90	アゼルバイジャン	0	2
9	バングラデシュ	16	393	54	チュニジア	1	10	90	クロアチア	0	2
10	タイ	8	392	54	ポーランド	0	10	90	ジョージア	0	2
11	スリランカ	19	339	56	シリア	2	9	90	スロバキア	0	2
12	ミャンマー	29	292	56	フィジー	0	9	90	セルビア	0	2
13	インド	9	153	58	スイス	0	8	90	タジキスタン	0	2
14	米国	3	129	58	コンゴ民主共和国	0	8	90	デンマーク	0	2
15	フィリピン	2	99	60	ベネズエラ	0	7	90	ノルウェー	0	2
16	カンボジア	4	94	60	モロッコ	0	7	90	ペルー	0	2
16	ブラジル	1	94	62	サウジアラビア	0	6	90	北マケドニア	0	2
18	イラン	3	77	62	チリ	0	6	90	旧ユーゴスラビア共和国	0	2
19	ラオス	2	69	62	ボリビア	0	6	90	ガボン	0	2
20	ロシア	0	62	62	フィンランド	0	6	90	ガンビア	0	2
21	エジプト	4	60	62	ザンビア	0	6	90	リビア	0	2
21	トルコ	2	60	62	ペナン	0	6	90	リベリア	0	2
23	ドイツ	5	55	62	マダガスカル	0	6	90	南アフリカ	0	2
24	メキシコ	3	49	69	キルギス	2	5	90	ソロモン諸島	0	2
24	フランス	2	49	69	コスタリカ	1	5	115	ブルンジ	1	1
26	英国	2	43	69	ブルガリア	1	5	115	マラウイ	1	1
27	パキスタン	6	42	69	オーストリア	0	5	115	クウェート	0	1
28	ケニア	2	41	69	オランダ	0	5	115	キューバ	0	1
29	イタリア	2	37	69	ベルギー	0	5	115	ハイチ	0	1
30	ウズベキスタン	2	33	69	トンガ	0	5	115	バハマ	0	1
30	シンガポール	1	33	76	モザンビーク	2	4	115	アイルランド	0	1
32	ペルー	3	29	76	パレスチナ	0	4	115	アルメニア	0	1
33	カナダ	0	27	76	アルバニア	0	4	115	エストニア	0	1
34	ナイジェリア	2	25	76	トルクメニスタン	0	4	115	ギリシャ	0	1
35	スペイン	1	21	76	ラトビア	0	4	115	ポルトガル	0	1
36	オーストラリア	1	19	76	リトアニア	0	4	115	アルジェリア	0	1
36	ガーナ	0	19	76	スーダン	0	4	115	ギニアビサウ	0	1
38	アフガニスタン	0	18	76	ルワンダ	0	4	115	コンゴ共和国	0	1
39	カザフスタン	2	17	84	ヨルダン	0	3	115	セーシェル	0	1
39	アルゼンチン	0	17	84	チエゴ	0	3	115	トゴ	0	1
39	スウェーデン	0	17	84	ハンガリー	0	3	115	中央アフリカ	0	1
42	ウガンダ	0	16	84	エリトリア	0	3	115	ツバル	0	1
43	ウクライナ	2	15	84	シエラレオネ	0	3	115	ニューカレドニア	0	1
43	カメルーン	0	15	84	マリ	0	3	115	ミクロネシア	0	1
45	バハニューギニア	0	14	90	イエメン	0	2	計	134の国と地域	964	24,830

*無国籍(4)を含む

米山奨学生数の推移(2004-25学年度)



米山学友を中心に発足したクラブ

クラブ名	地区	加盟承認	例会開催日
台北東海RC	3482	1995.01.31	木12:00 *例会は日本語で実施
台中文心RC	3461	2007.03.16	第1・第3水 18:30 *例会は中国語・日本語対応可
東京米山友愛RC	2750	2010.03.16	水19:30(第1・3・5) 土10:30(第2・4)
東京米山ロータリーEクラブ2750	2750	2012.06.21	日20:00(オンライン)
さいたま大空RC	2770	2013.11.25	土18:30 *財団学友と米山学友により設立
茨城ロータリーEクラブ	2820	2019.05.27	第1・第3土19:00 (オンライン)
東京麹町スターロータリー衛星クラブ	2580	2022.04.26	第2火・第4水20:00 (オンライン)
宝塚ユニバースロータリー衛星クラブ	2680	2023.03.16	火19:00(オンライン)

ロータリー会員になった米山学友



311人
(事務局把握分)

<出身国・地域別 TOP3>
台湾:88人 中国:74人 韓国:73人

☆ガバナーになった米山学友



林 隆義氏 故人
(1977-78/京都西南RC)

1997-98年度ガバナー
第3650地区(韓国)



許 國文氏
(1975-77/徳島RC)

2005-06年度ガバナー
第3490地区(台湾)



林 華明氏
(1984-86/東京世田谷RC)

2015-16年度ガバナー
第3522地区(台湾)

第6代

よねやま親善大使のご紹介

よねやま親善大使は、日本全国の地区を訪問し、スピーチと交流によって米山記念奨学事業の理解を深めるPR活動をしています。地区の行事やIMなどのスピーカーにぜひお呼びください！

プーガ パブロ さん (2006-08/東京三鷹RC)



メキシコ出身。第2750地区東京広尾RC会員。2023-24年度会長としてDEIを意識した運営に取り組む。コロナ禍には、地区内クラブとメキシコとの合同プロジェクトで、公立小学校への電子黒板寄贈のパイプ役を務めた。

ガンバト トウメンバヤル さん (2014-15/大府RC)



モンゴル出身。2000-00年度第3450地区フレールRAC会長。モンゴルの公立学校への図書室設置や、韓国のチョンジュRCと協同し経済的に恵まれない家庭の子どもたちへの支援など、さまざまな社会貢献活動に尽力。

カレタオ さん (2023-25/旭川RC)



ベトナム出身。明治アカデミー札幌校勤務。2024-25年度在日ベトナム学生青年協会・北海道支部会長を務め、日越交流支援活動に尽力。両国の交流促進のためのイベントも多数企画・運営している。

ホームカミング制度で学友を招待してみませんか？

活躍する元米山奨学生(学友)を招待し、現在の活躍をスピーチしてもらうことで、地区内の米山記念奨学事業に対する理解を深めていただく制度です。

- ・国内外で活躍する学友を、1地区につき年間2人まで
- ・1人につき25万円(海外は35万円)まで実費補助あり



詳細や申請方法は
こちら▼



米山学友からの寄付金 (累計)



131,979,553円
(2025年6月末現在)

左記とは別に、東日本大震災義援金約760万円、能登半島地震義援金約300万円等が寄せられ、当会経由で被災地区へ送金しました。

出身国地域別	順位	金額	人数
中国	1	91,813,363円	(62人)
台湾	2	31,241,001円	(47人)
韓国	3	3,552,000円	(23人)

※前年度の集計に誤りがあり、修正の結果、前年度掲載時よりも累計額が少なくなっています。

博士号取得者数



4,215人 / 24,830人
(申請ベース。奨学期間以外の取得を含む)



博士号を取得した奨学生・学友には、名前入りの腕時計を差し上げています(要申請)

出身国地域別	順位	人数
中国	1	1,645人
韓国	2	1,358人
台湾	3	649人
バングラデシュ	4	96人
ベトナム	5	55人

在日外国人留学生関連 DATA

2024年5月1日現在の留学生数は336,708人(前年比21%増)となり、比較可能な2011年以降過去最多。留学生全体のうち、当会奨学金の主な対象となる高等教育機関在籍者は229,467人となっている。

年	留学生総数	国費・政府派遣・私費留学生内訳			在籍機関内訳	
		国費留学生数	外国政府派遣留学生数	私費留学生数	高等教育機関	日本語教育機関
2018年	298,980人	9,423人	3,733人	285,824人	208,901人	90,079人
2019年	312,214人	9,220人	3,541人	299,453人	228,403人	83,811人
2020年	279,597人	8,761人	3,206人	267,630人	218,783人	60,814人
2021年	242,444人	8,197人	3,170人	231,077人	201,877人	40,567人
2022年	231,146人	8,924人	3,008人	219,214人	181,741人	49,405人
2023年	279,274人	9,182人	2,981人	267,111人	188,555人	90,719人
2024年	336,708人	9,304人	2,574人	324,830人	229,467人	107,241人

高等教育機関における国・地域別留学生は中国が41.2%を占め、ネパール、ベトナムの順に多い。

- 1 中国 94,635人 (41.2%) 2 ネパール 37,203人 (16.2%) 3 ベトナム 22,633人 (9.9%)

「2024(令和6)年度外国人留学生在籍状況調査結果」(日本学生支援機構)より

活躍する米山学友

米山学友として4人目のガバナーに

ラスmana センダリウス さん
(インドネシア出身 1992-94/長岡西RC)

国際ロータリー第3410 地区ガバナーエレクト (2026-27 年度ガバナー)。長岡技術科学大学大学院卒業後、東京エレクトロンに入社、世界各地での勤務を経て、三洋電機インドネシア営業部長となる。現在、Pt. Panca Kusuma Raya の専務取締役。2022-23 年度ジャカルタメンテンRC 会長、2023-25 年度 同地区ガバナー補佐。



技術と教育で築く日カ友好

オム ロムニー さん
(カンボジア出身 2000-02 / 北見東RC)

北見工業大学で工学博士号を取得。カンボジア工科大学名誉理事として技術的専門知識を指導。2018 年チートプカ国家功労大勲章、2021 年 JICA 理事長賞、2024 年 旭日中優章など、名誉ある賞を多数受賞。現在、カンボジア王国教育・青年・スポーツ省国務長官を務める。



将棋の国際普及のために

カロリーナ フォルタン さん
(ポーランド出身 2017-18 / 甲府東RC)

漫画をきっかけに将棋に興味を持ち、2017 年に日本将棋連盟に所属する初の外国籍女流棋士に認定された。引退までに女流初段に昇段。現在は将棋の国際普及を目指し、動画配信やイベント、英語圏のオンラインコミュニティ運営を通じて、国際的な交流と学びの場を提供している。



これまでに巣立った2万人以上の元米山奨学生は、世界各地で活躍しています

幹細胞研究のスペシャリスト

劉 莉 さん
(中国出身 2002-04 / 徳島RC)

大阪大学工学研究科特任教授。幹細胞を使った再生医療や新薬開発に携わる。iPS 細胞から作った心筋細胞で高性能な心臓組織を構築し、心不全治療や薬の安全性評価に応用。細胞培養技術や新材料開発にも取り組む。多数の論文・特許を有し、大手企業と共同研究を実施。2024 年 EngiTissue Design 株式会社を設立。



ナイル川の水資源がら平和構築へ

ホサム ダルウィッシュ さん
(シリア出身 2005-06 / 東京府中RC)

JETRO アジア経済研究所新領域研究センター グローバル研究グループ研究員。エジプト政治を中心とする中東・北アフリカの現代政治、地政学、比較政治、国際関係論を専門とする。現在は、ナイル川流域における水資源の共有をテーマに、国際関係学の視点から研究・情報発信に取り組む。



AI でインフラと人をつなぐ架け橋に

サマンタ テリジャゴダ さん
(スリランカ出身 2000-01 / 羽鳥RC)

AI の専門家。2007 年よりスリランカ情報技術大学の高級教授を務め、副学長も歴任。24 年からは立命館アジア太平洋大学客員研究員、また、株式会社 Unsung Fields のテクニカルマネージャーとして日本とスリランカの技術を融合し、同国のインフラ整備に取り組む。同年より第4代スリランカ米山学友会会長を務める。



学友会について

期間終了後は必ず学友会に！

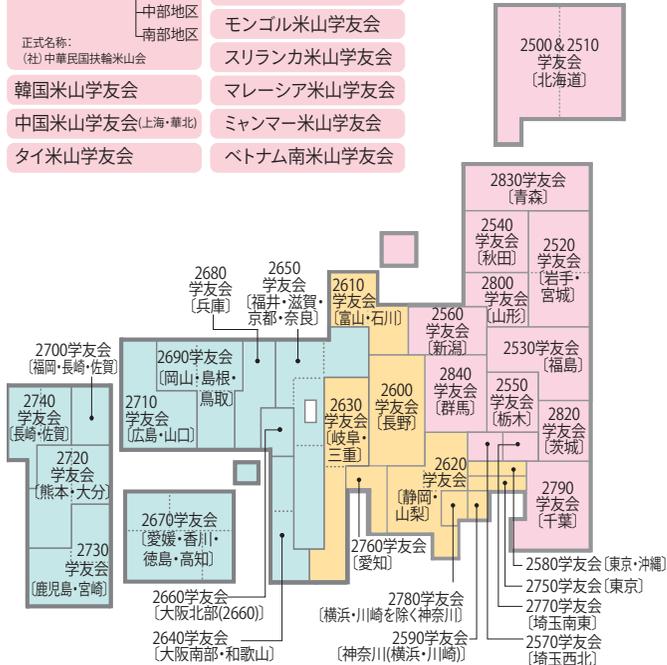
米山学友会は、学友(元奨学生)を中心とする同窓会組織です。日本に33(34ロータリー地区)、海外に10、計43の学友会があります。

- ✓ 奨学期間終了後も、転居・就職・転職などの都度、米山奨学会のHPから情報更新するよう、学友に奨励してください。
- ✓ 奨学会登録住所により、該当する学友会から学友へ案内が届きます。ぜひご参加ください。
- ✓ 米山学友会に入会するためには「入会申込書」の提出が必要です。奨学会ホームページの「奨学生・学友の窓口」にログインすると、各学友会の連絡先一覧を見ることができます。

海外

台湾米山学友会	北部地区	ネパール米山学友会
	中部地区	モンゴル米山学友会
	南部地区	スリランカ米山学友会
正式名称: (社) 中華民國扶輪米山会		
韓国米山学友会	マレーシア米山学友会	
中国米山学友会(上海・華北)	ミャンマー米山学友会	
タイ米山学友会	ベトナム南米山学友会	

国内



学友会の活動紹介【海外編】

台湾

米山学友による世界大会「愛in台湾」を2026年12月に開催

2009年に「日本人若手研究者奨学金」を設立し、24年までに累計61人の日本人を支援。学友がカウンセラーとなり、日本人奨学生を物心両面で支えています。日本留学フェアへ出展し、米山奨学事業をPRするほか、若者へ留学のアドバイスもしています。



韓国

2016年から毎年、韓国へ留学中の日本人を奨学支援しています(25年度7人、累計57人)。そのほか、帰国学友の歓迎会も行っています。



タイ

2024年、タイ北部で発生した大雨・洪水の被災地へ義援金を寄付。現地協力者と連携し、必要な食料や生活必需品の調達を支援しました。



モンゴル

2024年から幼稚園で障がい児の歯科健診支援を開始。地域と連携し、必要な治療に繋げる活動をしています。



スリランカ

毎年新学期に山村の小学校へ文具を送る奉仕活動を実施しているほか、海岸清掃活動など社会貢献に努めています。



学友会の活動紹介【国内編】

第 2840 地区 群馬

学友会総会には過去最多の学友が終結し、活発に交流



第 2770 地区 埼玉

秋のバス研修旅行で、工場見学。学びと遊びの両方を満喫



第 2660 地区 大阪



2025年に創立40周年を迎え、盛大な記念式典を開催。エクスカッションでは、「EXPO2025大阪・関西万博」を散策し、交流を深めました。

第 2790 地区 千葉

ローターアクトと一緒に茶道教室で日本文化を体験



第 2610 地区 富山・石川

能登半島・巖門で海岸清掃・BBQ交流会を開催



第 2580 地区 東京

「キャリア共有交流会」を開き、学友が日本での経験を共有



第 2620 地区 静岡・山梨

台風被害を受けたベトナムの小学校へ自転車を寄贈



寄付の種類

米山奨学会への寄付は2種類です。この事業は皆さまからの毎年の寄付で運営されています。また、地区の奨学生数はほぼ寄付額で決まりますので、継続的なご支援をお願いいたします。

安定財源として、各クラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブから納入いただいています。

普通寄付金

全国平均 **4,870** 円

個人・法人・クラブからの任意寄付。金額に決まりはなく、ロータリー会員以外の方からもお受けします。

特別寄付金

全国平均 **11,128** 円

寄付をするには

寄付金送金明細
ダウンロードや
手順はこちら→



- 所属クラブがとりまとめて下記口座へ送金後、寄付金送金明細をお送りください
- クラブを経由せず、直接当会へ送金も可能です。事前に事務局 (p34) までご連絡ください
- クレジットカードはお取り扱いしておりません

三井住友銀行 京橋支店

普通預金 0920373

口座名義：公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

Q なぜ普通寄付金が必要なのですか？

当事業は、毎年いただく寄付金だけで成り立っています。特別寄付金は任意寄付なので、年間約900人へのほる奨学金の安定財源として普通寄付金が必要です。また、1967年に財団法人の認可を申請した際、普通寄付金による一定収入が見込めると文部省(当時)を説得し、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に設立許可を得た経緯があるためです。

寄付に対する表彰制度

米山へのご寄付は個人・法人・クラブそれぞれに累積し、一定金額に達した時点で表彰させていただきます。「達成クラブ」以外は、すべて特別寄付金が対象です。*2023年7月改定

個人寄付への表彰（対象：特別寄付金）

累計額	表彰名	表彰品
3万円	準米山功労者	なし
10万円	第1回米山功労者	感謝状
20万 ～90万円	(以降10万円毎に) 第2回～9回 米山功労者マルチプル	感謝状 NEW! +50万円のみ ピンバッジ(銀)
100万 ～390万円	第10回～ 米山功労者メジャードナー	感謝状 +100万円毎に ピンバッジ(金)
400万円～		感謝状 +100万円毎に クリスタル盾

* 累計10万円以上は10万円ごとに感謝状を贈呈します。加えて、累計50万円
で銀色のピンバッジ*2023年度より新設、100万円以降は100万円ごとに金のピン
バッジ(400万円以上はクリスタルの盾)が贈られます

法人寄付への表彰（対象：特別寄付金）

累計額	表彰名	表彰品
5万円	準米山功労法人	なし
50万円	米山功労法人	感謝状
100万円～	(以降100万円毎に) 米山特別功労法人	感謝状と盾

クラブへの表彰

累計額	表彰名	表彰品
100万円毎	米山功労クラブ	感謝状
1000万円毎	達成クラブ	感謝状
-	クラブ創立記念特別寄付	盾(10万円以上の場合)

* 「米山功労クラブ」はクラブ扱い・個人・法人すべての特別寄付金が対象
* 「達成クラブ」は普通寄付金・特別寄付金の合計金額が対象

表彰品が不要な場合は、クラブ事務局へお申し出ください

米山記念奨学会への 寄付は、寄付金控除 の対象です！



ロータリー米山記念奨学会は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付は①所得税、②法人税の税制優遇が受けられます。③相続税も非課税となります。

- 「税額控除」も選ぶことができます
従来の「所得控除」に加えて「税額控除」のいずれか有利な方式を選択いただくことができます。
- 普通寄付金分も申告用領収証を発行します
クラブからの申請が必要です。

1 個人として寄付をした場合（AorB）

「所得控除」と「税額控除」のいずれかを選択し、確定申告によって、納める所得税が減少します。東京都にお住まいの方は、個人都民税の寄付金控除も受けることができます。

A 所得控除なら・・・

$$\left\{ \text{課税所得} - \frac{\text{寄付金額} - 2\text{千円}}{\text{所得の40\%を限度}} \right\} \times \text{税率} = \text{納める所得税}$$

B 税額控除なら・・・

$$\left[\text{控除額} (\text{所得税額の25\%を限度}) \right] \times \text{税率} = \text{納める所得税}$$

$$\text{所得税額} - \frac{\text{寄付金額} - 2\text{千円}}{\text{所得の40\%を限度}} \times 40\% = \text{納める所得税}$$

どのくらい減税できますか？ 最大で寄付金額の約4割、所得税が減少します！

年間の課税所得額750万円の方が計10万円を寄付した場合

A 所得控除：98,000円 × 23%^{※1} = 22,540円

B 税額控除：98,000円 × 40% = 39,200円

※1 所得税率は、課税所得額によって5%～45%の7段階に区分されています。詳しくは国税庁のホームページをご確認ください

* 寄付金控除を受けるためには確定申告が必要です
* 他の控除等により変動します。計算例は参考にとどめてください

2 法人として寄付をした場合

一般の寄付金の損金算入限度額とは別枠で損金算入することができます。これにより、法人税額が軽減されます。限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。詳しくは各法人の経理担当部門に確認するか、国税庁の「特定公益増進法人に対する寄附金」のページをご覧ください。

3 遺言による寄付をする場合

生前に遺言書を作り、所定の手続きで当会へ遺産を寄付するご意思を示された場合、遺贈した財産は相続財産から控除され、相続税額が軽減されます。また、相続人が相続によって取得した財産を10カ月以内に寄付した場合も、寄付した財産に相続税が課税されません。

次世代の留学生支援・人材育成のため、遺産計画の際には、米山記念奨学会へのご寄付も検討いただければ幸いです。

申告用領収証の発送はいつ？

1年間(1~12月)に特別寄付をした方へ、翌年1月末日まで(確定申告に間に合うよう)に、申告用領収証と税額控除に係る証明書(写)をロータリークラブを通じてお届けします。法人の場合は、ご寄付いただいた都度、申告用の書類をお送りしています。

「紺綬褒章」の公益団体に認定

当会は2018年、内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました。個人では500万円以上、団体、企業等は1,000万円以上をご寄付をいただいた方で定められた条件を満たす場合に、紺綬褒章の授与申請が可能です。米山功労者の寄付累計額とは連動しませんので、紺綬褒章の申請を前提としたご寄付の場合は対象の寄付(分納含む)の前に必ず当会へお申し出ください。



画像は内閣府 HP より

地区別寄付実績【2024-25年度】

2024-25年度の個人平均寄付額は15,999円と、前年度から大きく減少しました。一方、特別寄付者割合^注の全国平均は、過去最高の47.5%となりました。

注：寄付者割合は「特別寄付(個人)をした会員数」を「地区会員数(2025年1月1日現在)」で割った数値です

地区	特別寄付		個人平均寄付額(円)
	法人	個人(%)	
2590 神奈川県(横浜市・川崎市)	115	79.5	30,406
2770 埼玉県南東	26	63.7	25,967
2660 大阪北部	124	70.9	25,685
2650 福井県・京都府・奈良県・滋賀県	225	82.6	23,223
2820 茨城県	96	71.6	22,760
2780 神奈川県(横浜市・川崎市以外)	53	68.7	20,865
2550 栃木県	26	68.8	18,450
2580 東京都・沖縄県	39	26.3	18,413
2840 群馬県	69	81.4	18,244
2750 東京都(北マリアナ諸島他)	91	42.6	17,939
2560 新潟県	159	70.6	17,316
2790 千葉県	63	43.1	16,571
2700 福岡県・長崎県・佐賀県	5	61.5	16,112
2680 兵庫県	19	42.5	15,913
2610 石川県・富山県	25	29.7	15,425
2760 愛知県	249	36.8	15,317
2640 大阪南部・和歌山県	10	56.8	14,495
2710 広島県・山口県	35	40.6	14,184
2690 岡山県・島根県・鳥取県	35	39.5	14,181
2670 愛媛県・香川県・高知県・徳島県	28	33.2	14,005
2620 静岡県・山梨県	126	71.3	13,959
2530 福島県	1	46.2	13,053
2600 長野県	9	20.5	12,821
2570 埼玉県西北	0	37.6	12,337
2740 長崎県・佐賀県	8	16.6	12,073
2510 北海道西部	72	43.1	11,531
2720 熊本県・大分県	7	40.0	11,055
2630 岐阜県・三重県	27	38.6	9,542
2800 山形県	34	28.2	9,442
2730 鹿児島県・宮崎県	6	27.5	9,238
2830 青森県	0	39.2	9,067
2540 秋田県	2	30.4	9,056
2520 岩手県・宮城県	4	22.3	7,677
2500 北海道東部	15	17.3	6,851
2024-25年度 全国平均	1,803	47.5	15,999

よくあるご質問

Q 申告用領収証を紛失しました

当会へご連絡いただければ再発行します。その際、領収証に「再発行」と記されます。

Q 退会した会員の寄付実績を、他会員に引き継ぐことはできますか？

同じクラブに所属する二親等までのご家族に限り、寄付実績の譲渡が可能です。引継ぎを希望する場合は、ご寄付の際の送金明細に記載しご連絡ください。

Q 会員ごとの寄付実績を知りたいのですが

個人の寄付額はホームページに掲載していません。eメールか FAXでお送りしますので、寄付担当者までご連絡ください。eメール: kifu@rotary-yoneyama.or.jp

Q 普通寄付も控除の対象になりますか？

クラブ事務局からの申請により、普通寄付金分の申告用領収証を発行することができます。締切は毎年 11 月末日です。申請には、会員氏名を入力したデータと、当会ホームページからのアップロードが必要です。

ご注意ください！

- クラブの会費から普通・特別寄付金を拠出している場合、
- ①「個人事業主」様は、個人の事業所得計算上、クラブ会費が「必要経費」にならないため、確定申告時に寄付金控除ができません
 - ②「法人事業者」様は、法人所得の計算上、クラブ会費が「交際費」としてすでに損金算入されているため、寄付金の領収証を確定申告に使用することはできません

Q 寄付の締め切りはいつですか？

個人の確定申告用領収証は毎年12月末日、ロータリー年度は6月末日までの入金を区切りとしています。

Q 奨学金は例会で手渡しせず、銀行振込でも良いのですか？

米山奨学金は長年、例会での手渡しを原則としていましたが、多額の現金を持ち歩くリスクを鑑み、2023年4月から銀行振込も可としました。ただし、奨学生には従来通り、月1回以上の例会出席が義務付けられています。これまでと同様、クラブ全体で奨学生を受け入れ、交流を深めていただくようお願いいたします。

Q 奨学期間が終わったら連絡がありません

学友の中には、仕事や研究で成果をあげてからでなければ連絡をしづらいと考える人がいます。また、国によってはLINE やGmail が受信できず、日本にいた時のように連絡が取れない場合もあります。世話クラブ側も、定期的に週報を送ったり、周年行事に招待するなど、交流を続ける働きかけをお願いします。

Q 中国人奨学生の割合は増えていますか？

中国人奨学生の割合は、コロナ禍を除き、過去 10 年間は約 40%で推移しており大きな増減はありません。当奨学金への応募資格を持つ外国人留学生のうち 63%が中国国籍ですが、各地区では指定校へ「特定の国籍に偏らないよう推薦を」と要望し、選考においては学業の優秀性のみならず、国籍バランスや中国国内の出身地域が多様になるよう配慮をしています。

Q 経済的に貧しい日本人は対象になりませんか？

当財団は 1967 年の設立趣意書に基づき、一貫して外国人留学生を対象としています。日本人学生を主な対象とした支援制度としては、国の「修学支援新制度」や JASSO（日本学生支援機構）の給付型奨学金、JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」など、返済不要の制度があります。また、ロータリーのグローバル補助金・地区補助金で日本人学生を支援することも可能です。

Q 世話クラブへの補助金はありますか？

奨学生1人につき年間6万円（2023学年度から増額）を毎年7月に世話クラブへ送金します。奨学生の例会食事代、『ロータリーの友』購読料、行事参加費など、奨学生のためにお使いください。特に、カウンセラー個人の経済的負担が大きくなるようご配慮ください。

Q 他のロータリー学友との違いは？

ローターアクトやインターアクト、ライラをはじめとする多くの「ロータリー学友」がいます。下記はその中から、留学支援に関わるものについて解説します。

ロータリー平和フェロー【ロータリー財団およびロータリー日本財団】

平和と開発の分野でキャリアをめざす人のための全額支給奨学金。ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高170人が、毎年世界中から選ばれます。修士号取得プログラム（15～24カ月）と専門能力開発修了証プログラム（オンラインを含む1年間）があります。

ロータリー奨学生【ロータリー財団およびロータリー日本財団】

グローバル補助金による奨学金は、重点分野のいずれかに関連する研究のため、大学院または同等の研究機関における1～4年間の留学を支援します。日本からは年間約40～50人を送り出しています。また、地区補助金による奨学金を提供する地区もあります。

ロータリー青少年交換学生【国際ロータリー】

15～19歳の学生を対象（年齢設定は地区決定）とする交換留学プログラムです。世界で6,655人が参加。長期交換（1年間）は複数のホストファミリー宅に滞在しながら、現地の学校に通います。短期交換（数日～数カ月間）は、学校の長期休み中に行われます。

ロータリー米山記念奨学生【ロータリー米山記念奨学会】

日本のロータリー独自の多地区合同活動として、在日外国人留学生を対象とし奨学金を支給しています。奨学生数は年間約950人、日本のロータリー会員との心の交流によって、将来、日本と世界とを結ぶ架け橋となる人材を育てます。

さまざまなロータリー関連団体

公益財団法人米山梅吉記念館

米山梅吉氏の遺徳を偲び、その偉業を顕彰することを目的として昭和44年に開館。館内は梅吉氏の生涯と日本のロータリーの歩みが展示されているほか、ロータリーの文献資料を備えている。

【事業内容】米山梅吉記念館の運営／ロータリーの文献を蒐集、整理、保管／研修室の運営

米山梅吉記念館 *10-16時、月曜休館
〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町土狩346-1
電話：055-986-2946 FAX：055-989-5101



国際ロータリーのロータリー財団

ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを使命とする。

【事業内容】地区補助金、グローバル補助金による奨学金、職業研修チーム、人道的プロジェクト／ロータリー災害救援補助金／ポリオプラス／ロータリー平和フェローシップ

国際ロータリー日本事務局（財団室）
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24階
RIJPNTRF@rotary.org 電話：03-5439-5805



公益財団法人ロータリー日本財団

ロータリー財団の協力財団。日本のロータリー会員は、日本財団を通じてロータリー財団に寄付をすることで税制上の優遇措置を受けることができる。

ロータリー日本財団 電話：03-5439-5806



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

勉強または研究のために来日し、大学等教育機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする。

【事業内容】奨学金の支給、その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
mail@rotary-yoneyama.or.jp
電話：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281



よねやまの資料をご活用ください

動画で理解を深める

☑ 「再会 in 関東」記録映像 2023年、6分 / 21分

2023年8月につくば市で開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」の記録映像。ダイジェスト&フルバージョン

☑ 紺綬褒章受章学友 周 順圭氏 2023年11月、4分

紺綬褒章を受章した米山学友、周順圭氏の褒章伝達式と特別インタビューの映像

当会のYouTubeチャンネルで新しい動画を随時公開!ぜひ登録をお願いします

YouTubeページ
はこちら→



冊子で事業の概要を知る

☑ 豆辞典

ロータリー会員必携の当冊子

リーフレット

☑ リーフレット (日本語版/英語版)

簡単な事業紹介。一般の方々や新入会員に

☑ 米山学友の群像

活躍する学友を紹介するvol.1~6、学友会特集号もあります



ブース装飾やイベントなどに

☑ ロゴ旗 (大 H210cm × W140cm・小 H135cm × W90cm)

地区大会の壇上掲揚や例会場でご使用いただけます

貸出 / ロゴ旗

☑ タスキ 貸出

学友や奨学生が集まるイベントに

☑ ポスター

新聞紙を広げた大きさのA1サイズ

☑ スタンド式バナー 有料 8,300円

高200cm幅80cm(設置時)、
巻き取り式でコンパクト収納

スタンド
バナー



インターネットで米山の情報をキャッチ!

☑ ホームページ

最新の情報を掲載
しています

ハイライトよねやま

寄付金納入明細表

奨学金情報

☑ フェイスブック

米山のFacebookページに「いいね」をお願いします



キ
リ
ト
リ

親愛なる皆様

米山記念奨学事業へご支援のお願い

ロータリー米山記念奨学会は、ロータリーの理想とする国際理解と国際親善に努め、海外からの留学生を支援し交流を深めることによって、国際平和の創造と維持に貢献することを目的としています。

当奨学会では、日本全国のロータリー会員からの寄付金を主な財源に、日本で学ぶ年間約900人の外国人留学生へ奨学金を支給しており、その事業規模は約16億円と、国内最大級です。

ご寄付をされた方へのさまざまな表彰制度もあり、2023年度からは新たに、個人の特別寄付金が累計50万円に達した方への表彰品として、ピンバッジを贈呈しています。これを機に、米山功労者の回を重ねてのご支援を賜りますよう、あらためてお願い申し上げます。

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

理事長 **若林 紀男**

(大阪東RC、RID2660 2003-04年度ガバナー)

- 米山記念奨学会への寄付金は税制上の優遇措置を受けることができ、所得税・法人税・相続税の寄付金控除の対象となります。
- 個人として特別寄付をされた方には、翌年1月末までにクラブ経由で申告用の書類を送付します。

特別寄付にご協力いただける方は、裏面の「寄付申込書」にご記入の上、点線部で切り取って所属クラブへご提出ください。

その他

寄付申込書

寄付申込書

申込日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 御中

私は公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の目的および事業に賛同し、米山記念奨学会に対して特別寄付をします。

金額： _____ 円

ご氏名： _____

所属：国際ロータリー第 _____ 地区

RC

寄付種別： 個人 法人

(法人寄付の場合は法人名をお書きください)

法人名： _____

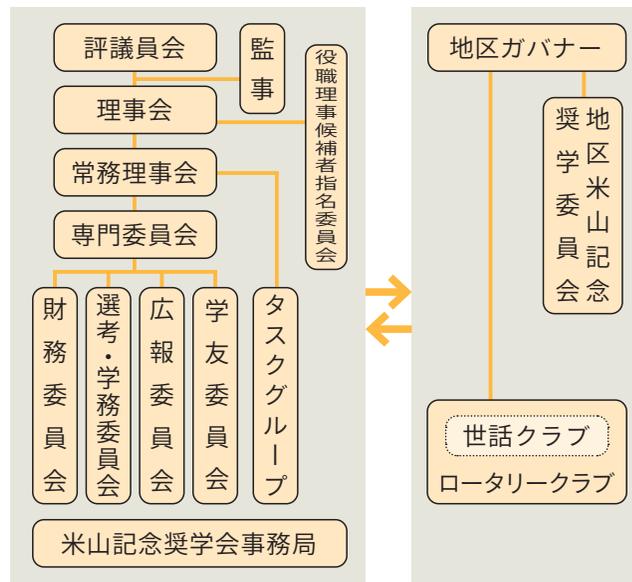
感謝状および表彰品を辞退される場合は、
チェック✓を入れてください。

感謝状・表彰品を辞退します

寄付金は、所属のロータリークラブを通じてご送金ください

キ
リ
ト
リ

事業の組織図



米山記念奨学会事務局職員

事務局長 峯 純子

事務局次長 野津美由紀

アドバイザー 柚木裕子

事業Gr.【選考・学務】	事業Gr.【広報・学友】	管理Gr.
GL 柴原めぐみ 高島陽子 岡庭久美子 鈴木隼人	GL 野津美由紀 広報・企画 長尾 滉 学友 薄井 唯	GL 大庭陽子 財務・経理 加藤いずみ 寄付・システム 森 尚子

米山記念奨学会事務局所在地

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

電話：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281

交通アクセス

- ・都営地下鉄三田線『芝公園駅』A3 出口より、徒歩 1 分
- ・都営地下鉄浅草線・大江戸線『大門駅』
A3 または A6 出口より、徒歩 6 分
- ・JR 山手線・京浜東北線『浜松町駅』
南口より、徒歩 8 分

Google地図は
こちら→

